

新潟県立出雲崎高等学校 教職員研修

# B-SAFEの概要と分析・活用(前半)

本研修資料は公益財団法人学校教育開発研究所(AISES)による資料などを参考に本校で作成したものです。  
つきましては、本研修資料に関するご意見やご質問等がありましたら、本校までお願いいたします。



# 1. 日本社会のこどもを取り巻く状況

2. 包括的プログラムと生徒指導の重層的支援構造

3. スマホの世界と現実の社会

4. 1層目を担う職員への後方支援の充実

5. B-SAFEの活用

(1) B-SAFE とは？

(2) いじめの実態把握

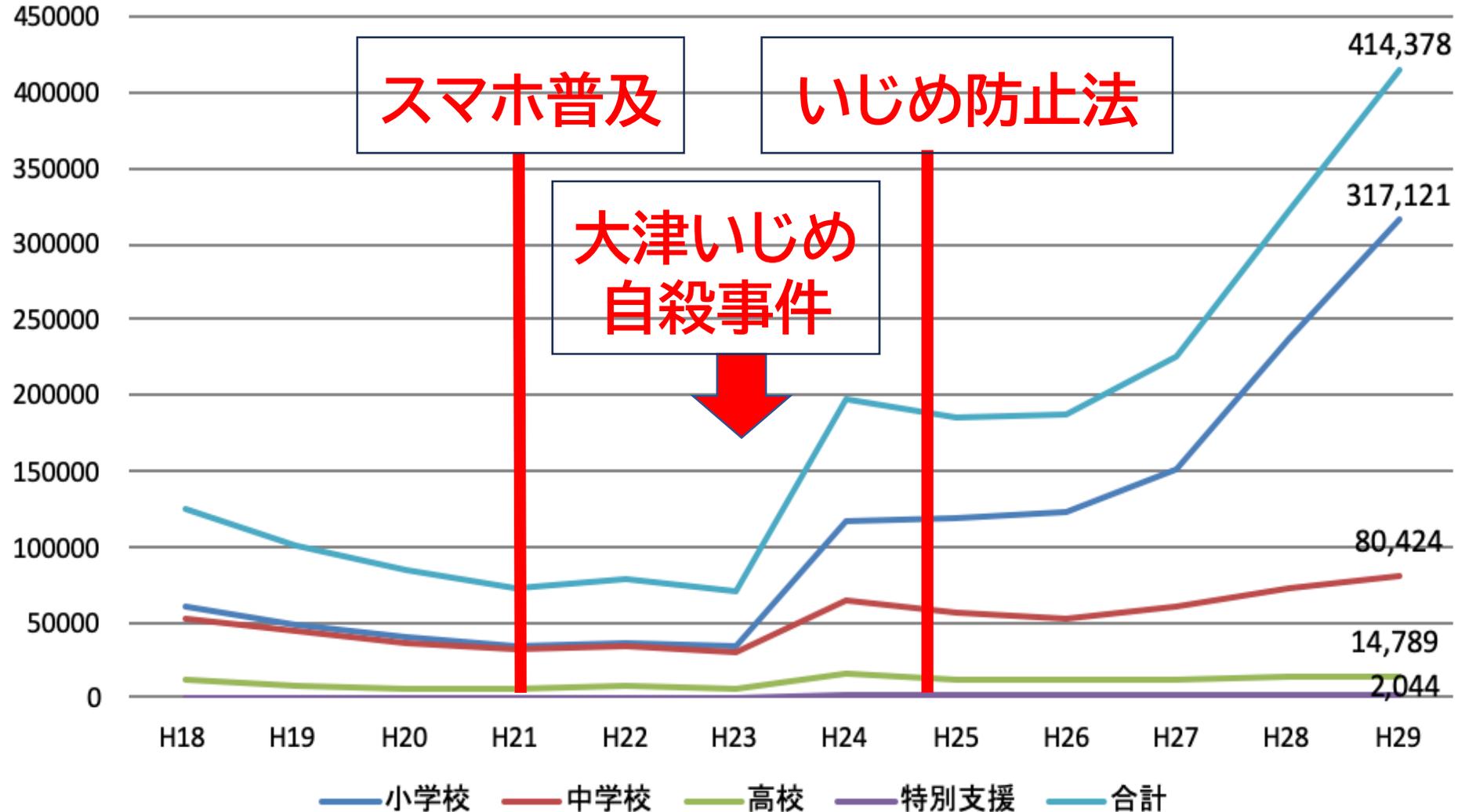
(3) いじめの予防対策 -1- 能力・支援

(4) いじめの予防対策 -2- 学級風土

6. 最後に

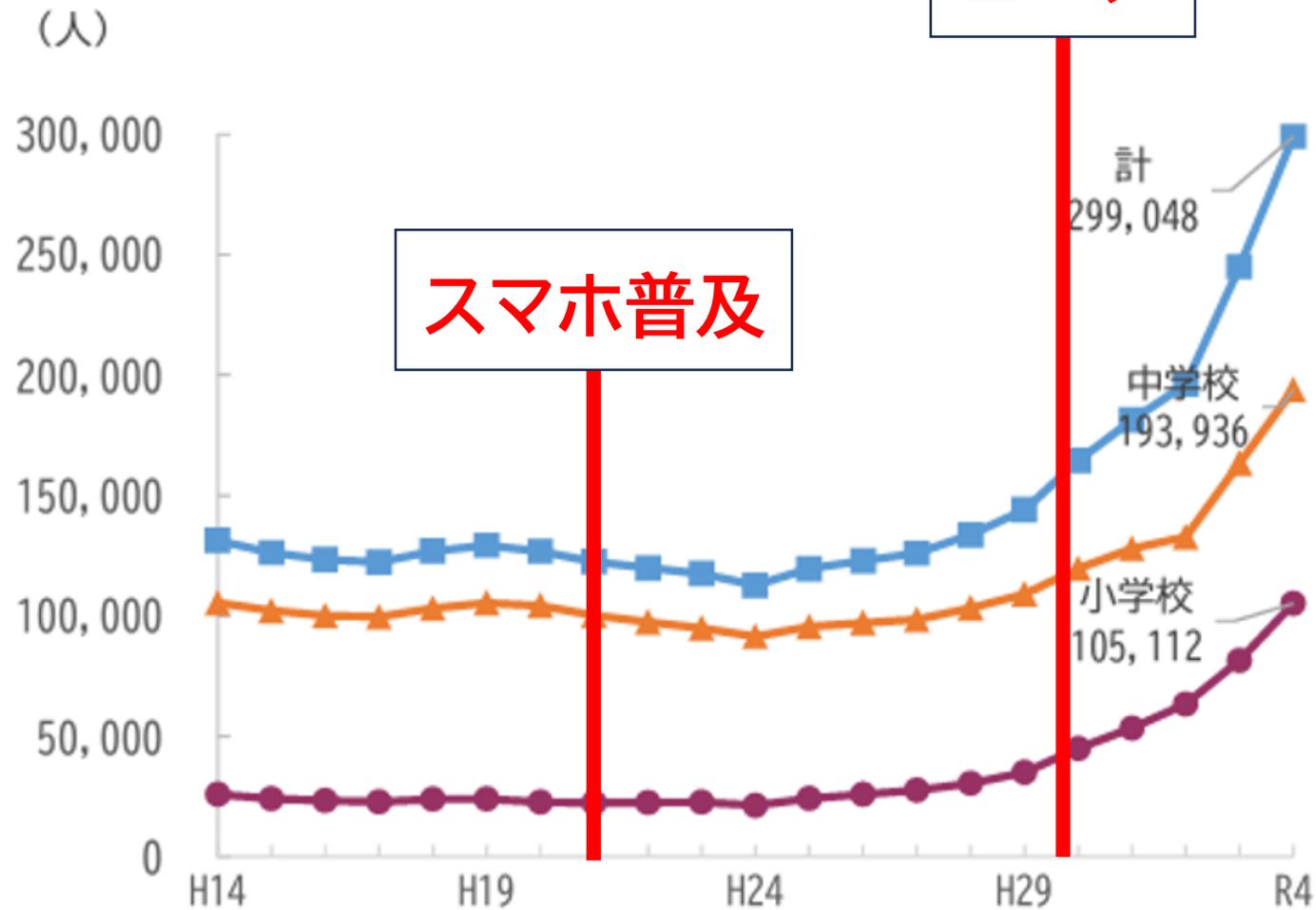
# 日本社会のこどもを取り巻く環境(1)

## いじめの認知件数



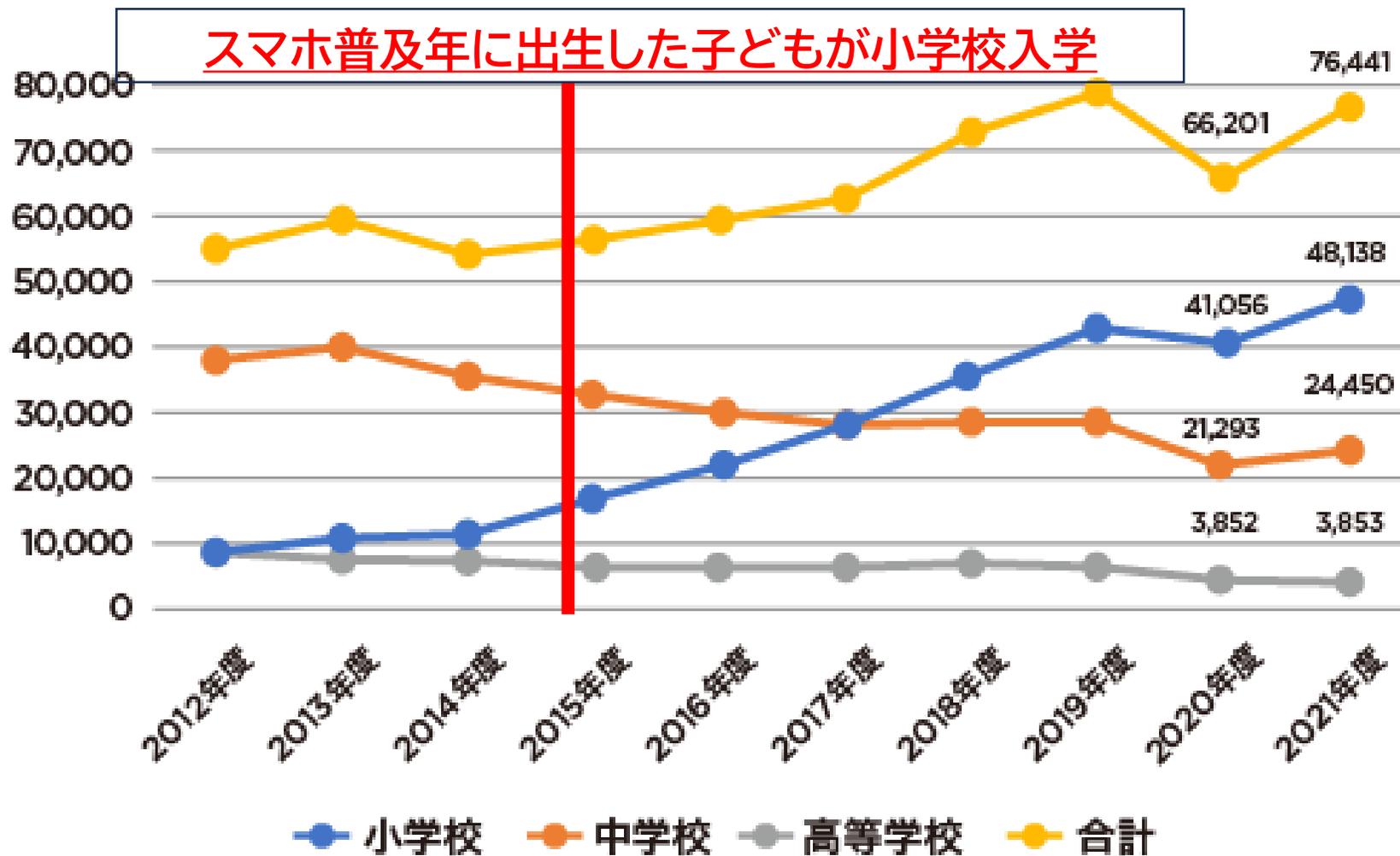
# 日本社会のこどもを取り巻く環境(2)

## 不登校児童生徒数の推移



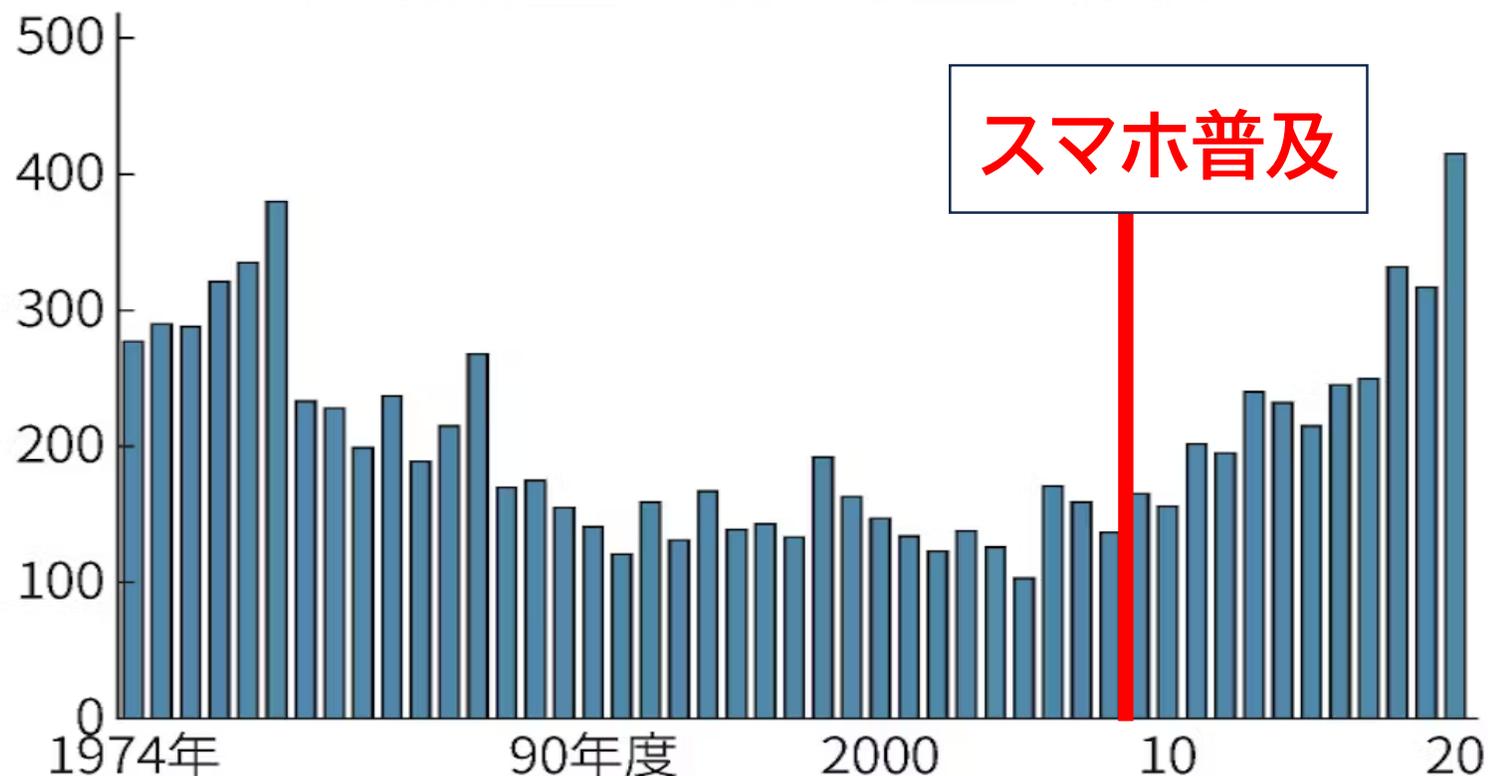
# 日本社会のこどもを取り巻く環境(3)

表1: 暴力行為発生件数(件)



# 日本社会のこどもを取り巻く環境(4)

## 小中高生の自殺件数の推移



(注) 1974~87年は年間、88年以降は年度間  
学校から報告のあった事案

(出所) 文部科学省

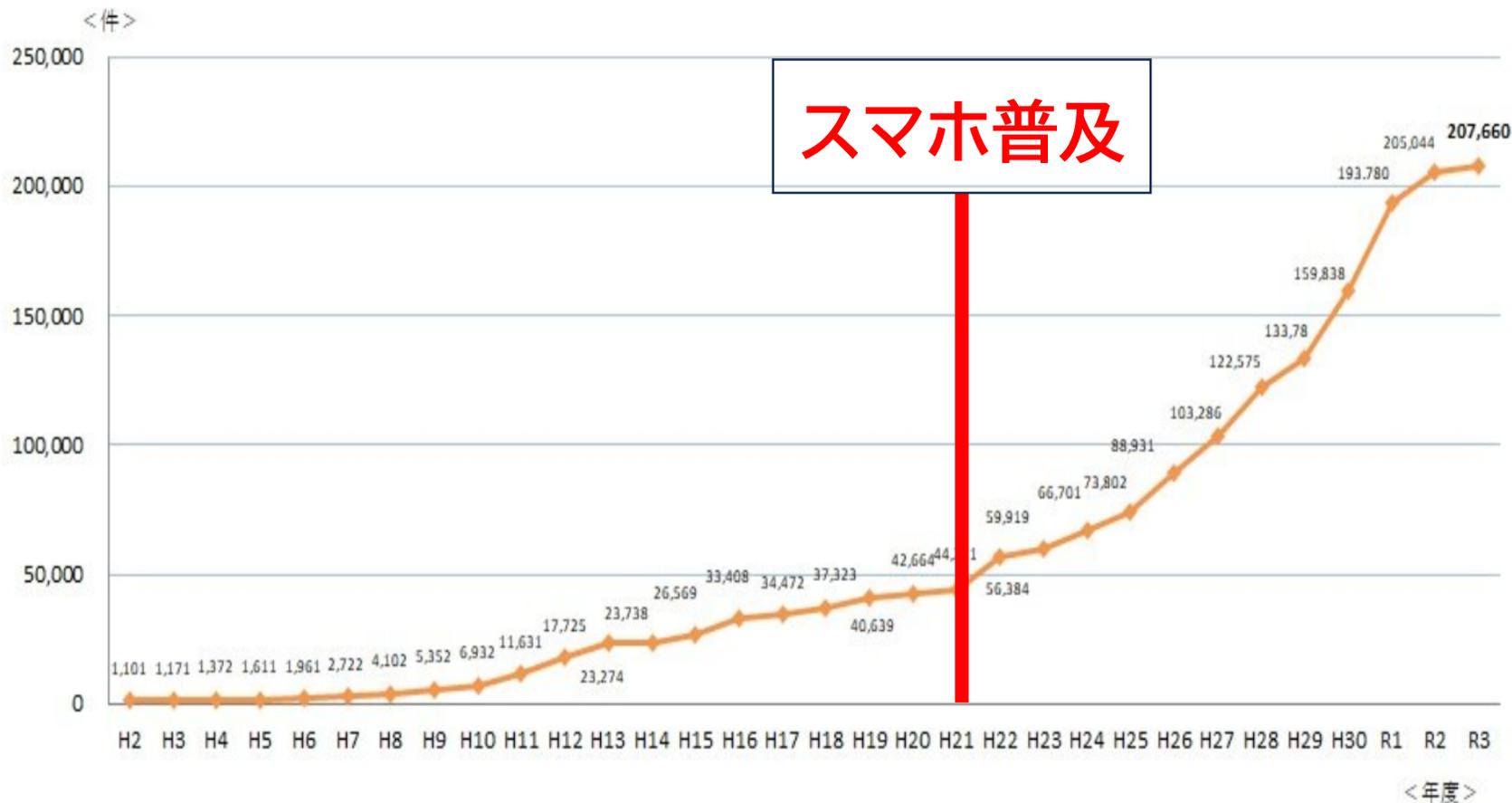
# 日本社会のこどもを取り巻く環境(5)

児童虐待 相談対応件数

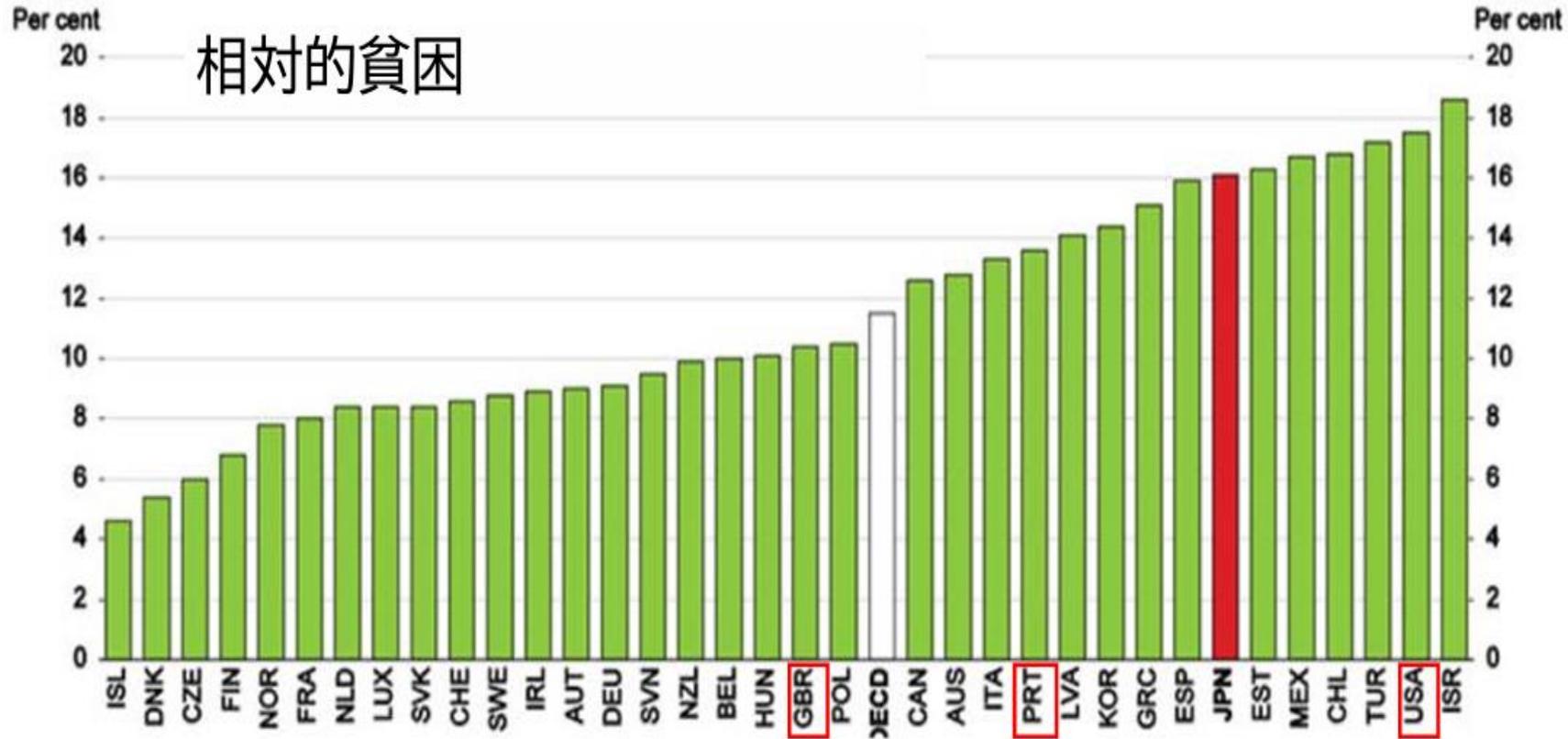
虐待かなと思ったら… 189

児童相談所  
虐待対応ダイヤル

児童相談所における児童虐待相談対応件数



# 日本社会のこどもを取り巻く環境(6)



出典：OECD (2017g)、OECD Income Distribution (データベース)

G7でUSAについて2番目に高い

子供の相対的貧困率は13.5% (2019) で、7人に1人  
ひとり親世帯では36%に食料の困窮経験あり

# 子供を取り巻く社会環境

## 学校(生徒)

いじめ  
(人間関係のトラブル)

学習に集中  
できない  
(アンダーアチーバー)

不登校

暴力

自殺

## 友だち

スマホ所持  
遊びの変質  
同調圧力

## 家庭

相対的貧困  
児童虐待  
ヤングケアラー

## ネガティブ循環

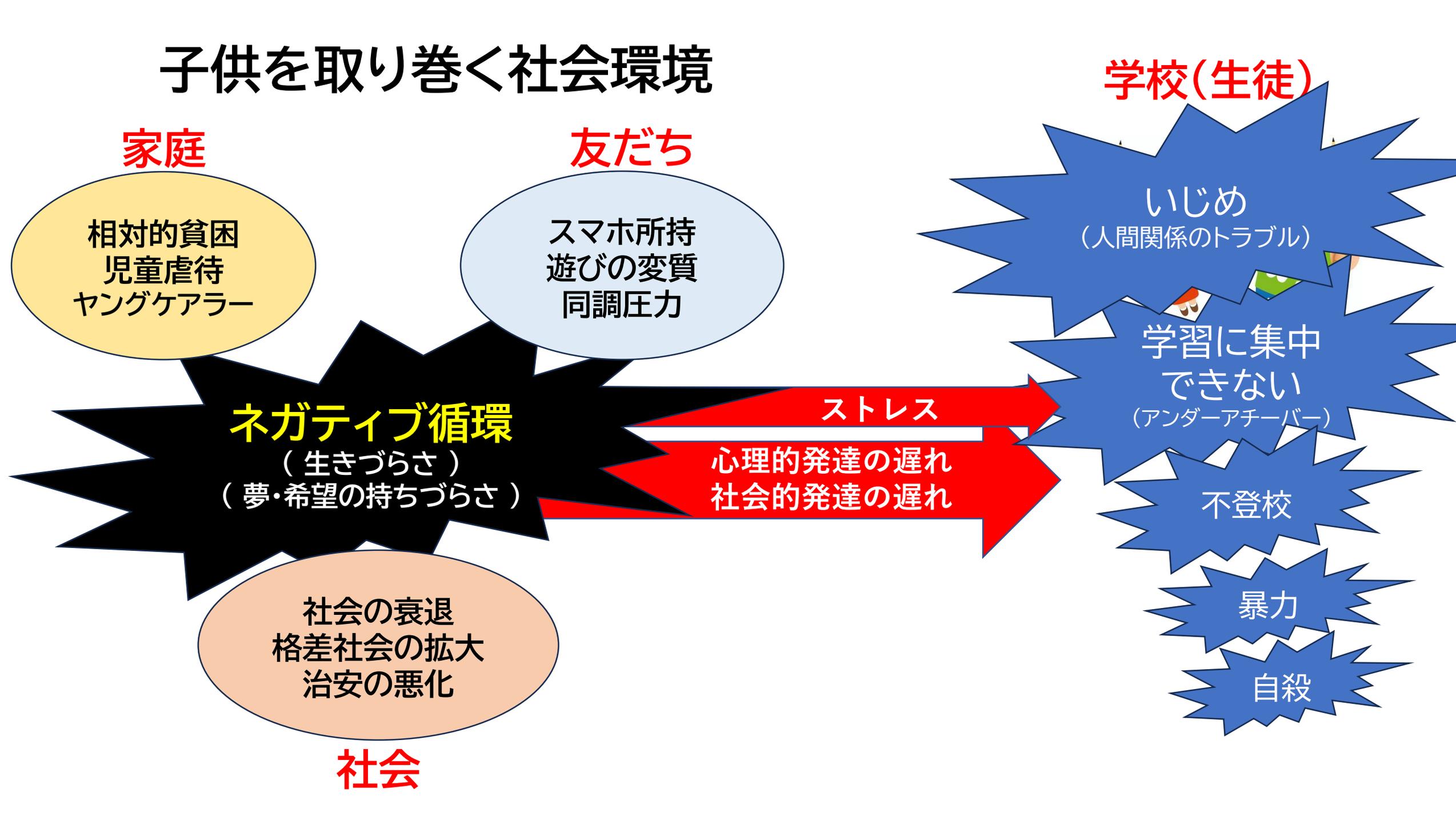
(生きづらさ)  
(夢・希望の持ちづらさ)

社会の衰退  
格差社会の拡大  
治安の悪化

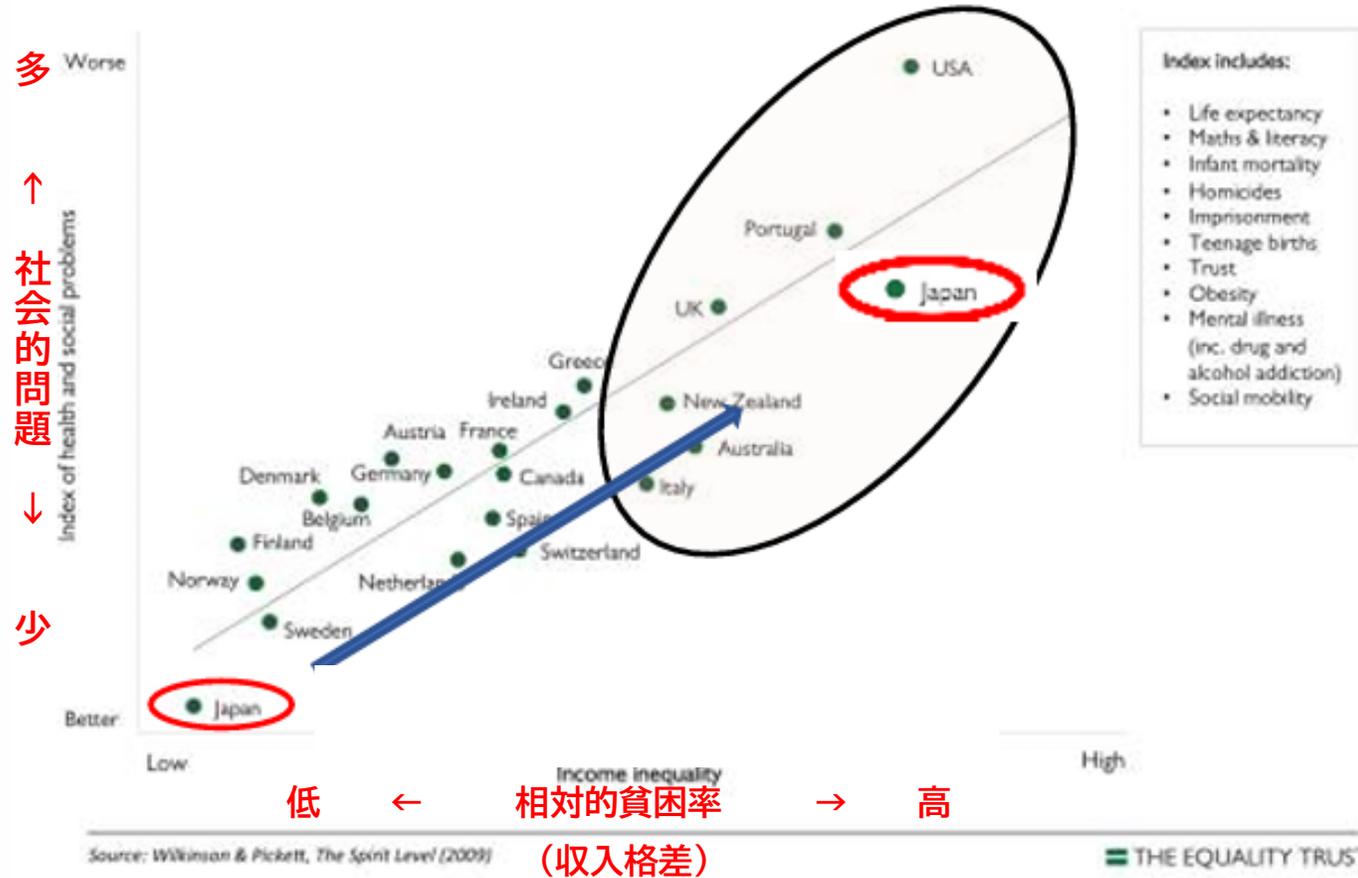
## 社会

ストレス

心理的発達  
の遅れ  
社会的発達  
の遅れ



社会的問題（反社・非社を含む）と相対的貧困の関係



日本は問題行動が少なく深刻度も浅かった。なので、日本では、**個人として行う指導や支援が通用。**

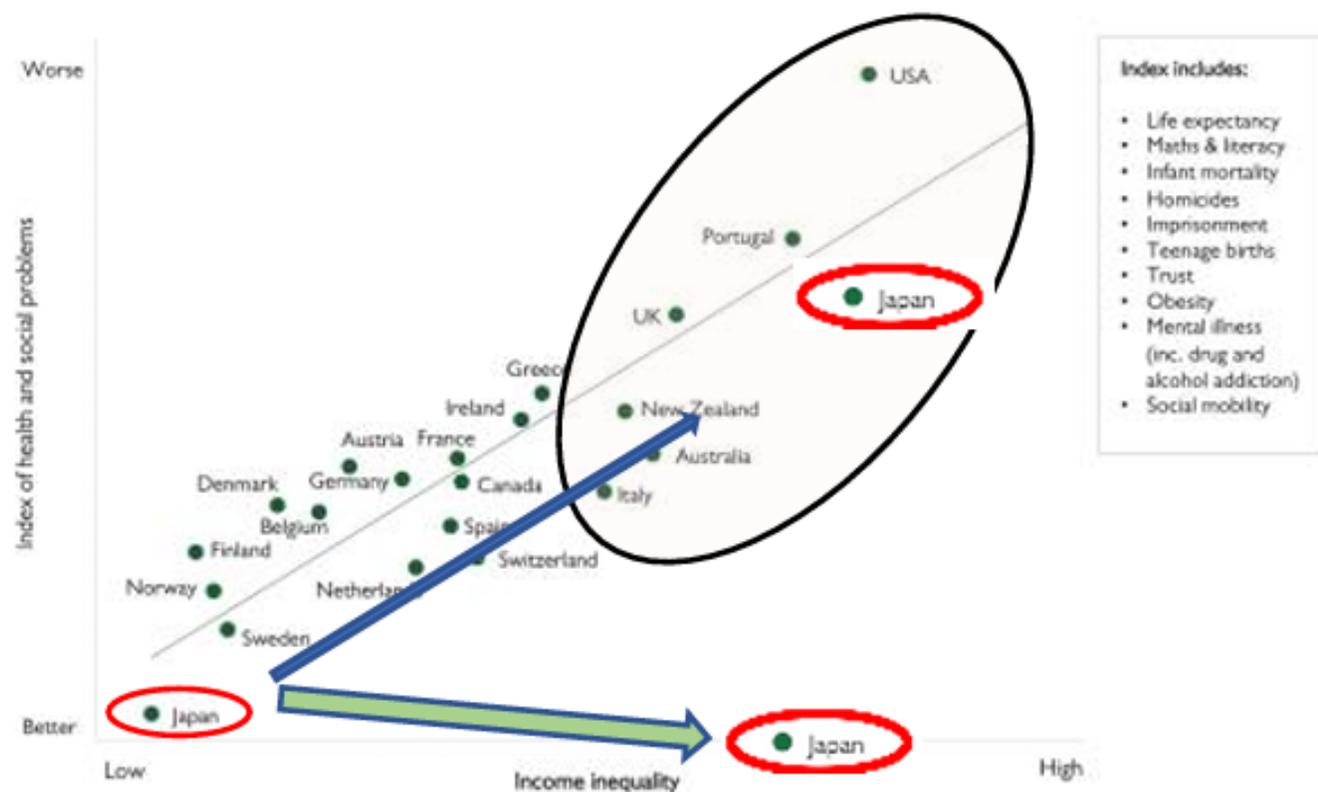
ただ、相対的貧困率が高い国は、子どもの問題行動が多くなる。

問題が大きい国は、個人対応での生徒指導は通用しない。そこで、**包括的プログラム**による支援に移行。

この10年で日本の収入格差が拡大し、位置が変化  
→いまままでは**教育崩壊のリスク**

# 包括的プログラムの普及定着

社会的問題（反社・非社を含む）と相対的貧困の関係



Source: Wilkinson & Pickett, *The Spirit Level* (2009)

THE EQUALITY TRUST

日本は問題行動が少なく深刻度も浅かった。なので、日本では、**個人として行う指導や支援が通用。**

ただ、相対的貧困率が高い国は、子どもの問題行動が多くなる。

問題が大きい国は、個人対応での生徒指導は通用しない。そこで、**包括的プログラム**による支援に移行。

この10年で日本の収入格差が拡大し、位置が変化  
→いまのままでは**教育崩壊のリスク**

**個人対応モデルから包括的プログラムへと移行する必要性**

1. 日本社会のこどもを取り巻く状況

## 2. 包括的プログラムと生徒指導の重層的支援構造

3. スマホの世界と現実の社会

4. 1層目を担う職員への後方支援の充実

5. B-SAFEの活用

(1) B-SAFE とは？

(2) いじめの実態把握

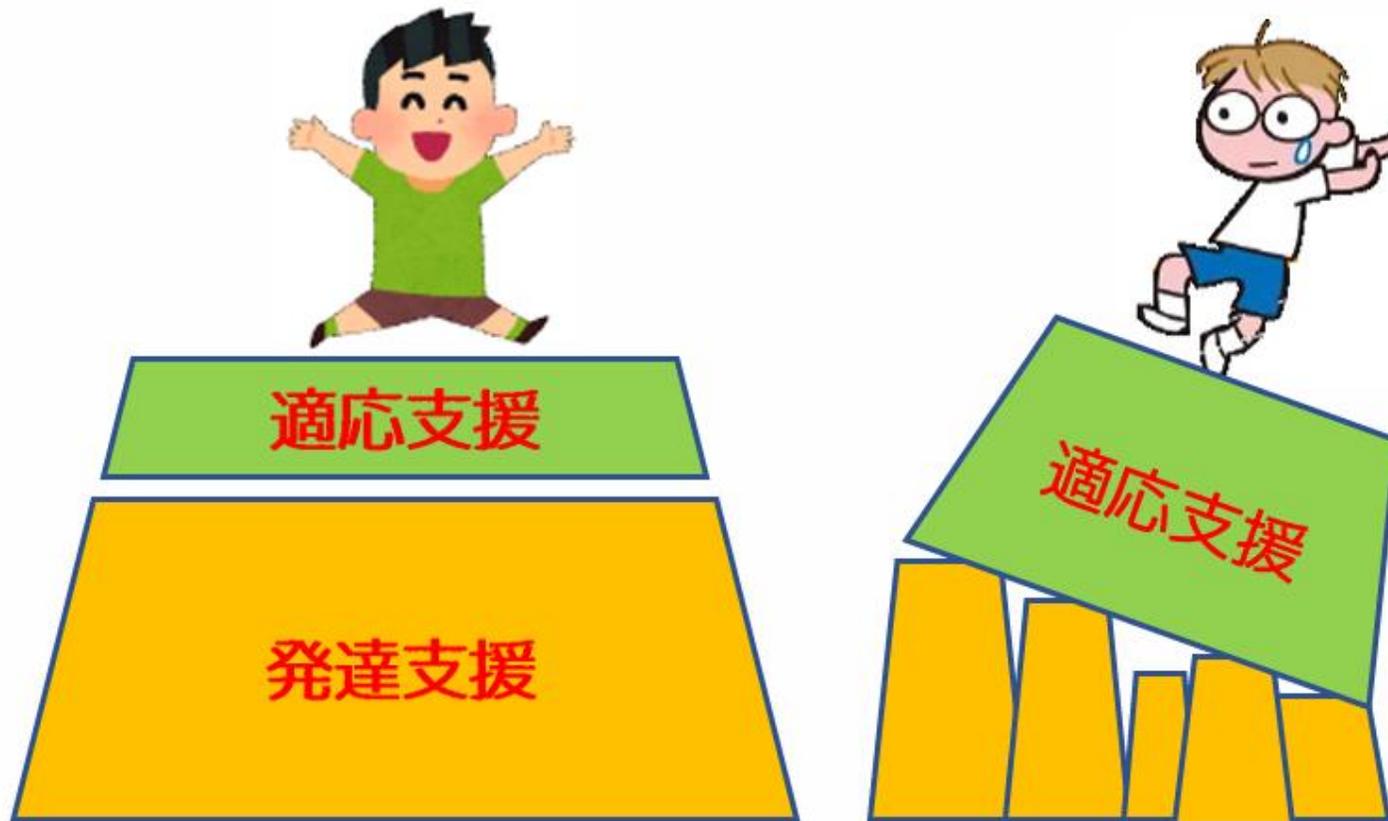
(3) いじめの予防対策 -1- 能力・支援

(4) いじめの予防対策 -2- 学級風土

6. 最後に

# 包括的プログラムという考え方

十分な発達支援を土台として適応支援を行う



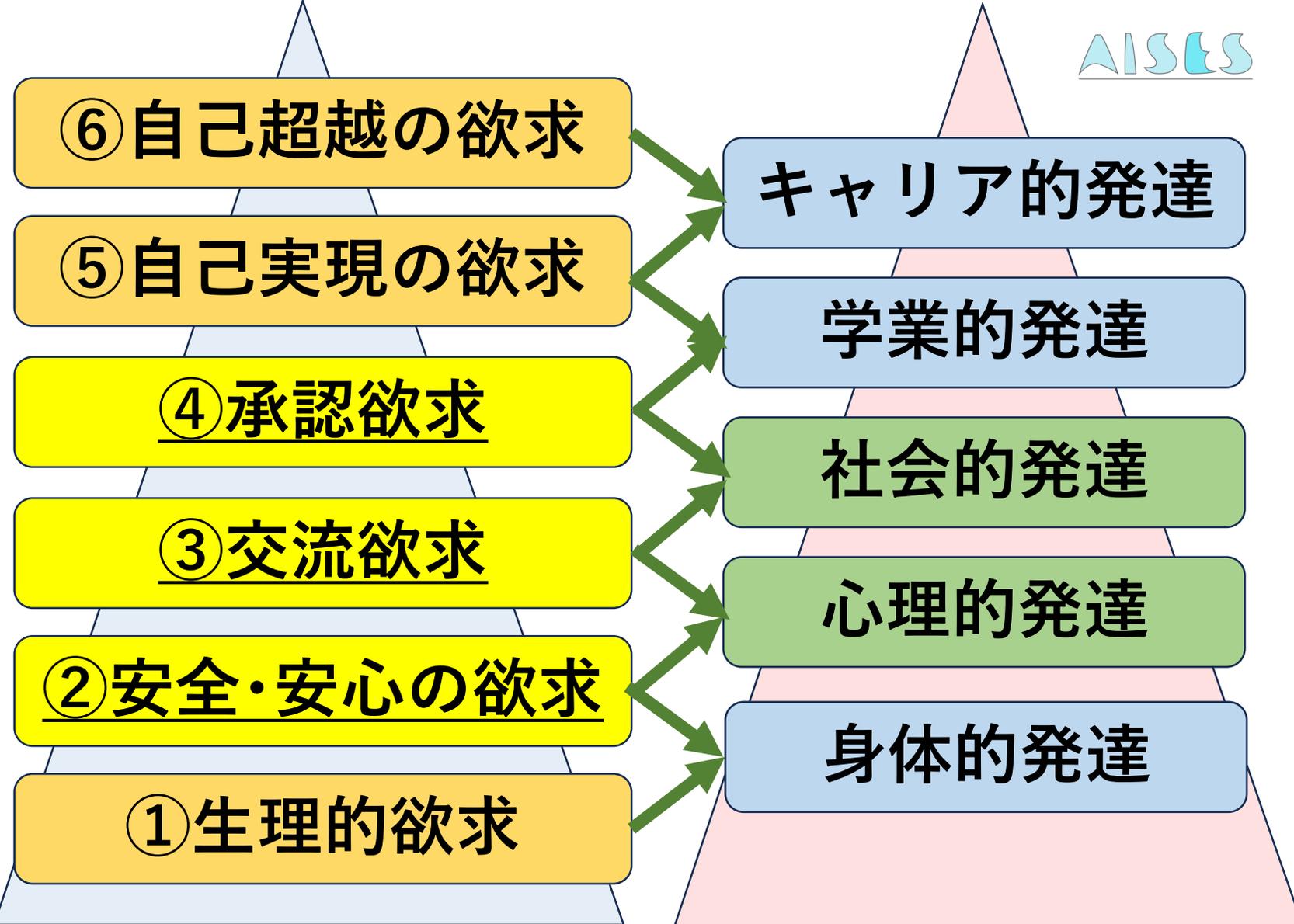
- 適応支援をいくらやっても, 子どもの発達が十分でなければ, 効果は出にくい。
- 発達支援と適応支援の統合プログラム

# “適応支援”とは

生徒が学校生活に適応出来るように支援すること を言う

- ① 基礎学力向上に向けた放課後の個別補習
- ② 基本的な生活習慣の改善指導・支援 （保健室等での個別相談）
- ③ 困り感ある生徒への個別相談（カウンセリングや教育相談）
- ④ 不登校生徒の集団生活への適応支援
- ⑤ 問題認知時の特別指導
- ⑥ 支援事案認知時の特別支援

# “発達支援”は“マズローの欲求充足”のSTEP-UPで行う



不登校や暴力行為・いじめ行為は心理的発達や社会性発達の問題

心理的発達と社会的発達を促すには、②③④を充足する仕組みを学校教育の中に創造することが大切

下位の欲求が充足されないと、その欲求の充足に固執し、上位の欲求には向かわない。

学力を伸ばすためにも②③④の充足を図ることが大事

# 本校の生徒を育てるゴール像 (GP)

## ■ Graduation Policy (育成を目指す資質・能力に関する方針)

本校ではこれから到来する変化の激しい時代においてもWell-beingな生き方を持続可能にする人材育成を目指して次の5つの力を育みます。

01

### 精神的な自立

自分に向き合って、自分で自分を成長させていける力を育みます。

02

### 社会的な自立

当事者意識を持ち、より良い社会づくりに取り組む力を育みます。

03

### 経済的な自立

将来の経済的基盤を確保できる職業人に必要な準備力を育みます。

04

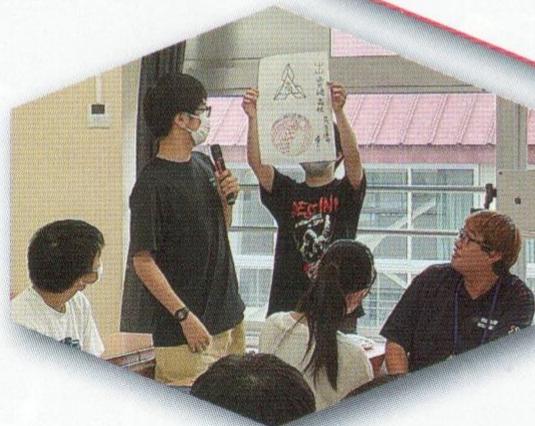
### 希望への輝き

夢と希望の達成に向けて、粘り強く取り組んでいく力を育みます。

05

### ゆたかな情操

他者への思いやりと敬意を基本に、他者とかかわる力を育みます。



ブランチキャンパス (2年)



# 本校の生徒の育て方のイメージ像 (CP)

## ■ Curriculum Policy (教育課程の編成及び実施に関する方針)

本校では生徒の発達、成長を考慮し、下のStep1からStep6までを積み上げて、資質・能力を育みます。

### Step6 自己決定する機会

生徒一人一人が、当事者意識を持って物事を捉え、自ら考え、判断し、自己決定していく経験を積むように教育活動を展開します。

### Step5 教育資源有効活用

生徒一人一人が、自己を取り巻く教育資源を正しく理解し、それらの有効活用を考え、自らの目標を達成できるよう促します。

### Step4 PDCAサイクル

生徒一人一人が、各々の活動に目的と目標を見出し、その達成に向け考え、実行し、振り返り、自己成長に繋げる指導を行います。

### Step3 学びの価値の実感

生徒一人一人が、学びを楽しみ、学びが自分の可能性を広げていると実感し、好奇心を高め、主体的に取り組める授業を行います。

### Step2 自己存在感の感受

生徒一人一人が、自己理解・他者理解を深め、豊かな情緒的交流により自分の存在価値を実感するような教育活動を展開します。

### Step1 安全・安心な空間

生徒一人一人が、自他を尊重し、お互いの多様な個性を認め合う関係を育み、安全・安心な空間で学習できるように取り組みます。

# カリキュラム・ポリシー、発達支援、グレートイノベーション・ポリシー の 関係性

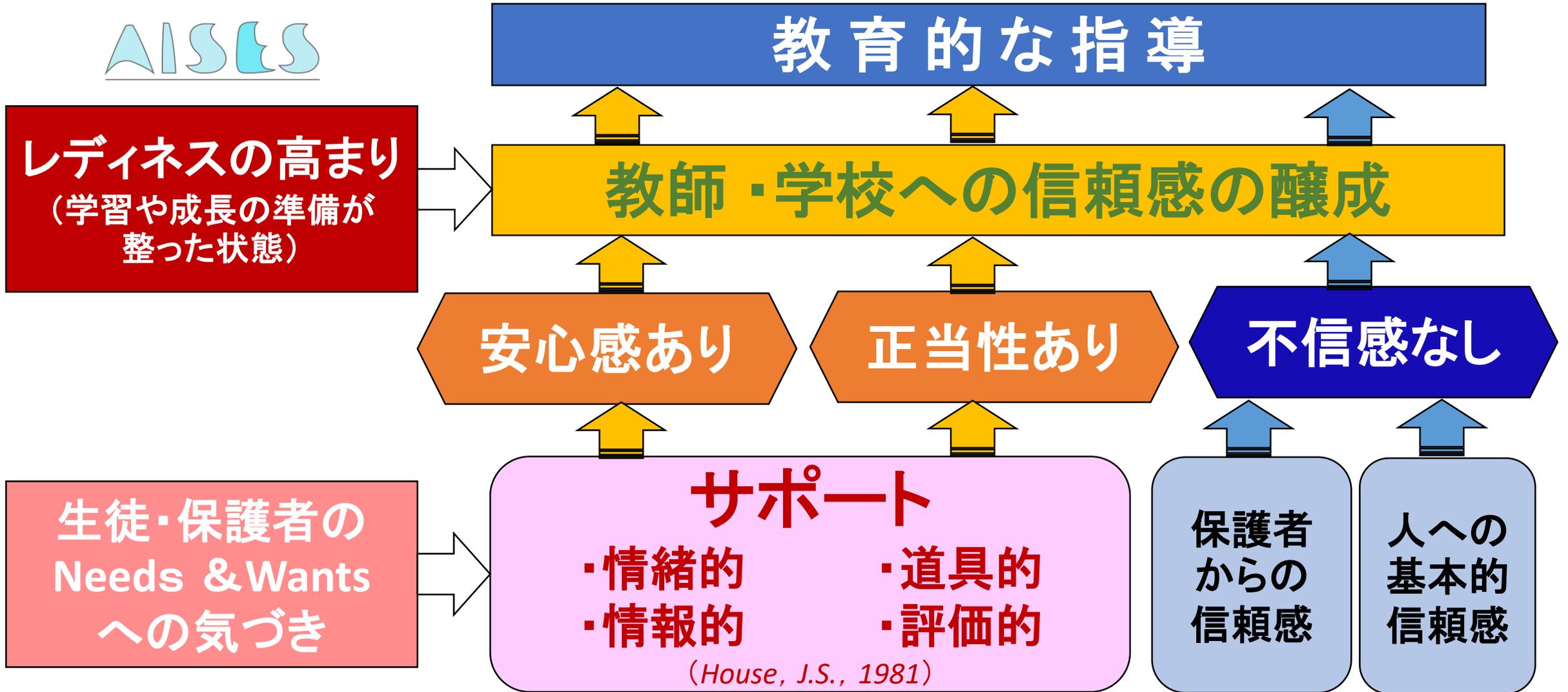


教育の基本書である「学習指導要領」と「生徒指導提要」から重要な概念を抽出してCPを構成した。

教育課程により生徒を自立させ、将来Well-Beingな生き方を持続可能にさせるためには、心理的発達、社会的発達の土台が必要であり、①②③を充足させる取組からはじめることが大切

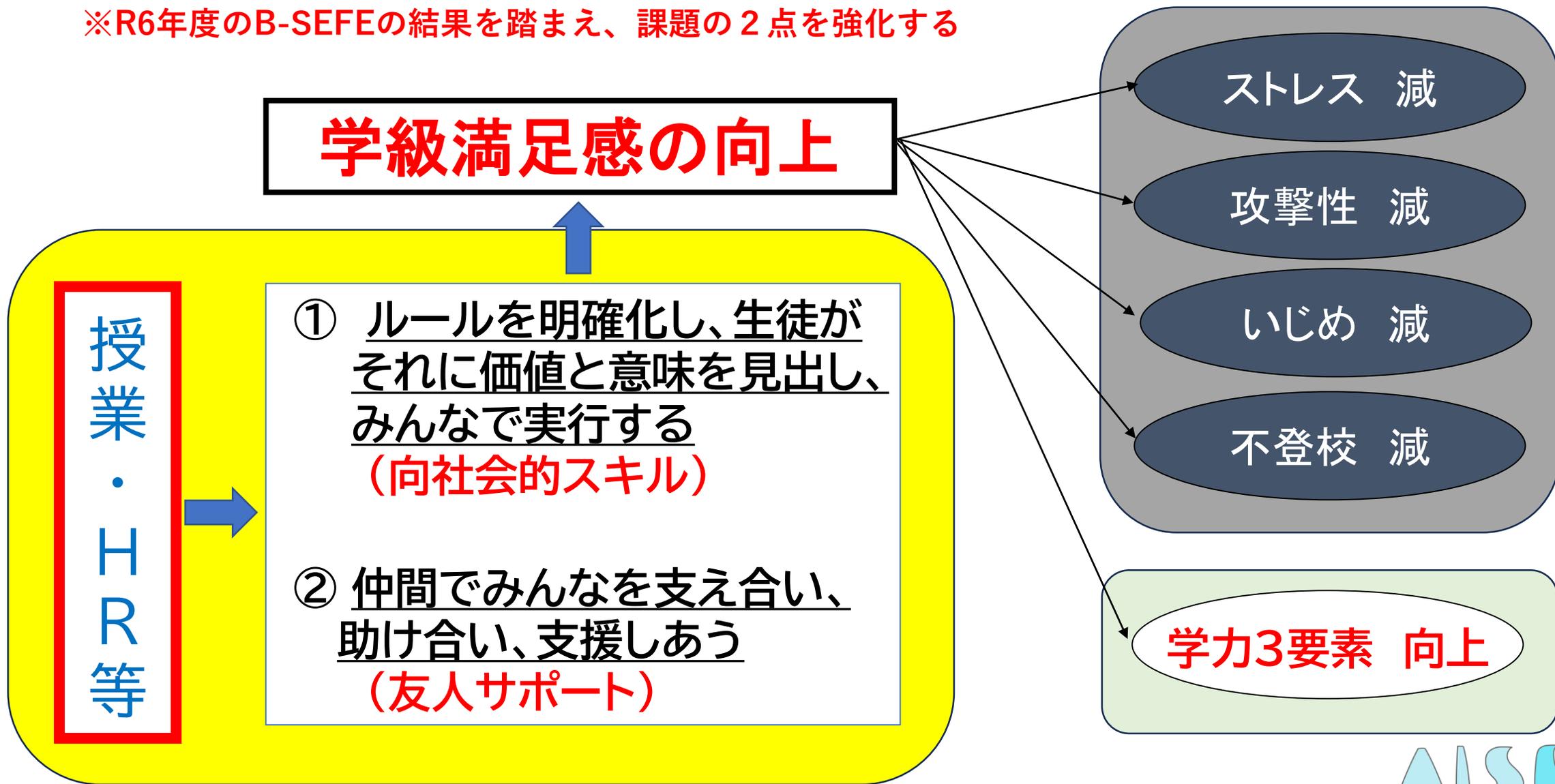
そして主体的な探究活動により④⑤⑥を満たす指導へと繋げていくことが重要

# 「教育的な指導」が入るように、その前段階を整える

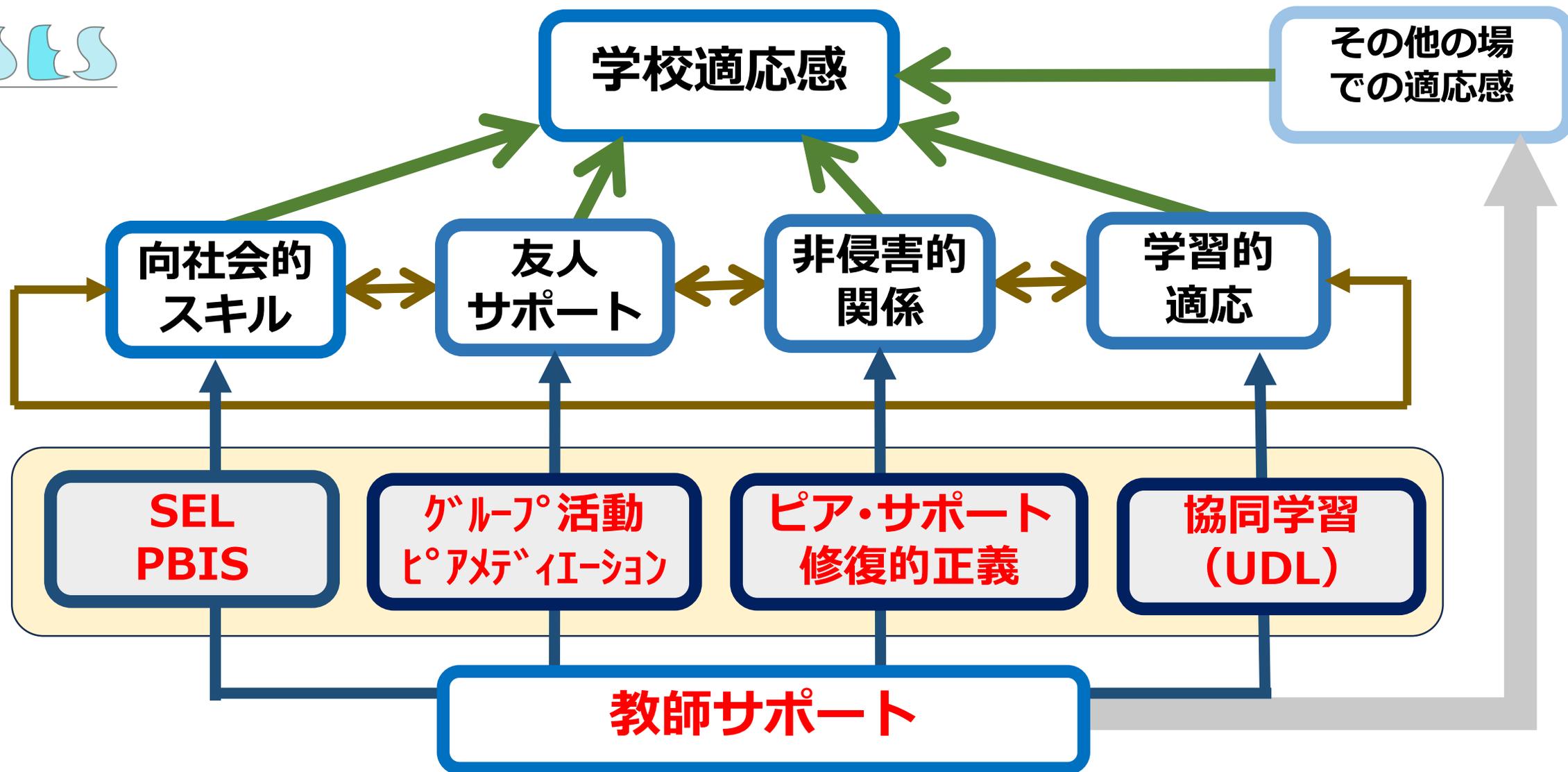


# 授業・HR・部活動等での教師の取組が「生徒指導」の基盤

※R6年度のB-SEFEの結果を踏まえ、課題の2点を強化する



# 学校適応感を高める“指導の具体的方策”とその関係性



# 用語解説

## □ SEL (Social & Emotional Learnig)

社会的スキルと感情的スキルの育成を目指し、対人関係能力を高める学習方法

## □ PBIS ( Positive Behavioral Interventions and Supportrts )

積極的に、ポジティブで望ましい行動を獲得させ、定着を促す働きかけ(介入・支援)

## □ ピア・メディエーション

問題が起こった際、対立しているお互いの気持ちを仲間の援助も借りながら、対話を進め、それを通じてお互いの本当の気持ちを理解し、平和的に解決する仲裁方法

## □ ピア・サポート

「人は人を支援するなかで成長する」という基本的な考え方のもと、人間尊重の精神に基づき、仲間同士が互いに支え合う活動

# 用語解説

## □ 修復的正義（ Restorative Justice ）

問題が起こった際、関係者(被害者、加害者、家族など)が一緒になって、問題によって生じた害を修復したり、回復したりするための「正義」に向かう取り組み

## □ 協同学習

課題に個人で向き合った後、仲間とのコミュニケーションで全体で思考し、協力し合っ  
て課題解決を図る中で、思考力・判断力・表現力を高め、学力の伸長を図る学習方法

## □ UDL（ Universal Design for Learnig ）

全ての子どもを、主体的に学ぶことができる学習者(学びのエキスパート)に育てるた  
めのフレームワーク

学習がうまく進まないのは「学習者に障害がある」のではなく、「カリキュラムに障害が  
あえる」と考え、その「障害」を探しだし、ガイドラインに基づいた選択肢(オプション)を用  
意し、学習者がなぜ学ぶのかに基づき、主体的に調整し、学べるようにする取り組み

(参考:「UDLガイドライン」、「UDL実践者の成長ルーブリック」)

# 自己実現

## キャリア教育（自己指導能力の育成）

罪障感を伴った行為への社会的修復に向けた取組の促進（支援）

修復的正義

望ましい行動の明確化と行動の強化

PBIS

全人的成長

仲間同士お互いを支え合う  
取組の推進

ピアサポート

主体的・対話的で深い学び  
のある授業

協同学習

SEL (Social & Emotional Learning)

他者感情理解と自己感情のコントロールを身につける

日常の学校生活での安全・安心を感じる情緒的な交流  
（土台としての安定した心理的発達の促進）

# 生徒指導の取組の変容

かつて

これから

事後的対応



予測に基づく計画的対応

問題点を正す解決



夢・希望に向けた能力開発

説諭により叱る, 締める



対話から教え, 諭し, 気づかせる

個別対応



プログラム対応

担任中心



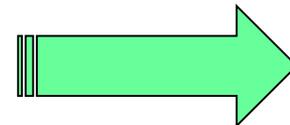
チーム学校 (組織連携)

教師・指導者中心



仲間の支えあいの活用

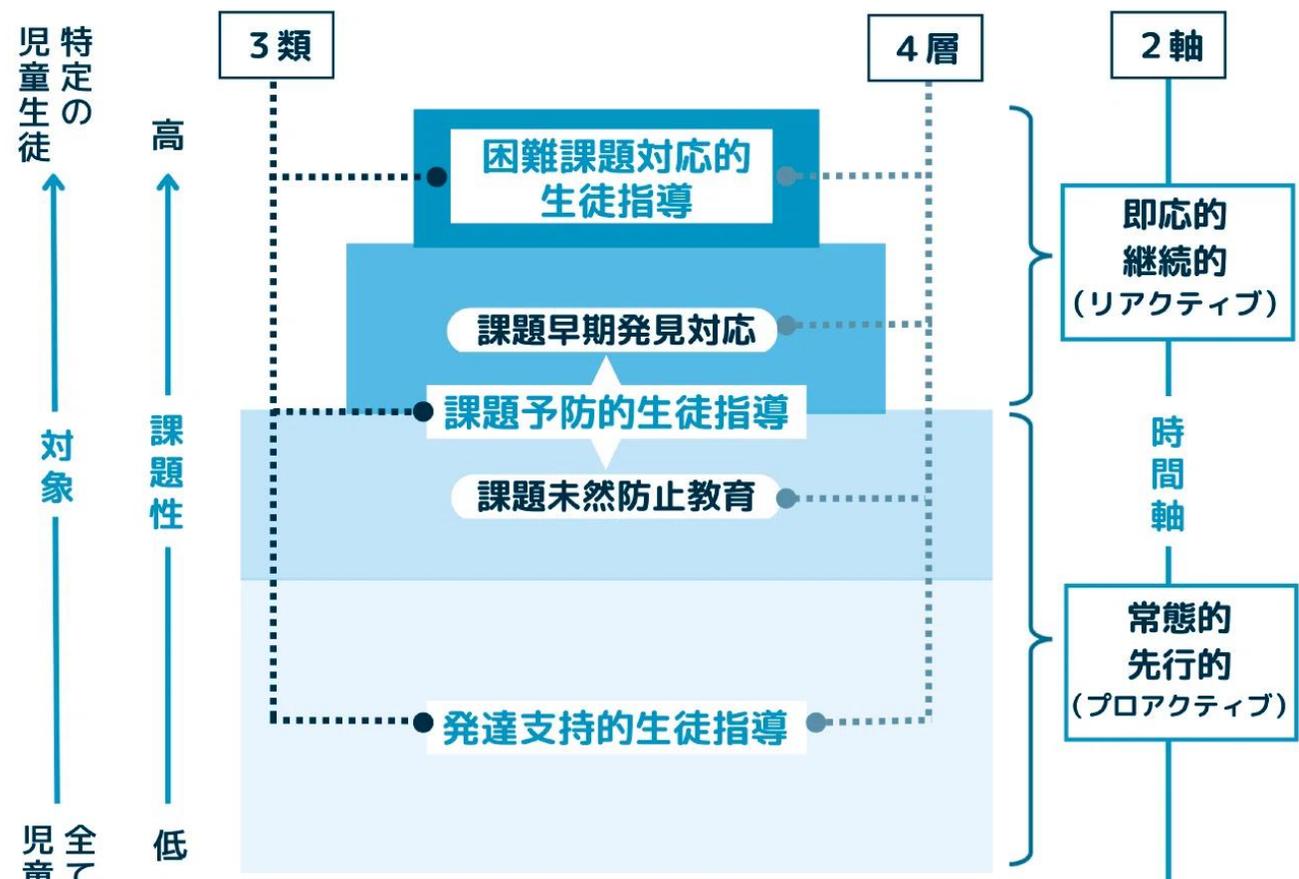
川下で溺れてくる子どもを救う



上流で泳ぎ方を計画的に教える

生徒指導と教育相談の実質的統合の必然性

# 重層的支援構造で「学校組織文化」を再確認



## 重層的支援構造

図 生徒指導の重層的支援構造

# 重層的支援構造

## 1層目【 発達支持的生徒指導 】(1)

特定の課題を意識することなく、

**全ての児童生徒を対象**に、

**学校の教育目標の実現**に向けて、

**教育課程内外の全ての教育活動において進められる**

**生徒指導の基盤**となるもの

# 重層的支援構造

## 1層目【 発達支持的生徒指導 】(2)

日常の教室や授業の中で、 児童生徒に

- ①自己理解力、②自己効力感、③コミュニケーション力、
- ④他者理解力、⑤思いやり、⑥共感性、
- ⑦人間関係形成力、⑧協働性、⑨目標達成力、
- ⑩課題解決力などを含む

社会的資質・能力の育成を図る取組（指導）のこと

# 重層的支援構造

## 1層目【 発達支持的生徒指導 】(3)

日々のなかでの

①挨拶、②声かけ、③励まし、④賞賛、⑤対話、及び、  
⑥授業や行事等を通じた個と集団への温かい働きかけ

といった生徒への働きかけ

→その教師サポート（情緒的、道具的、情動的、評価的）が、  
生徒が「教育的な指導」を受け入れるレディネスを形成する

# 重層的支援構造

## 3層目【課題早期発見対応】(1)

課題の予兆行動が見られたり、問題行動のリスクが高まったりと、気になる一部の児童生徒を対象にして、初期の段階で諸課題を発見し、深刻な問題に発展しないようにする

# 重層的支援構造

## 3層目【課題早期発見対応】(2)

生徒が「課題を抱え始めている」と早期に感じ取ることが  
できるのは、常日頃に一緒に学校生活を過ごしている仲間  
であることが多い。

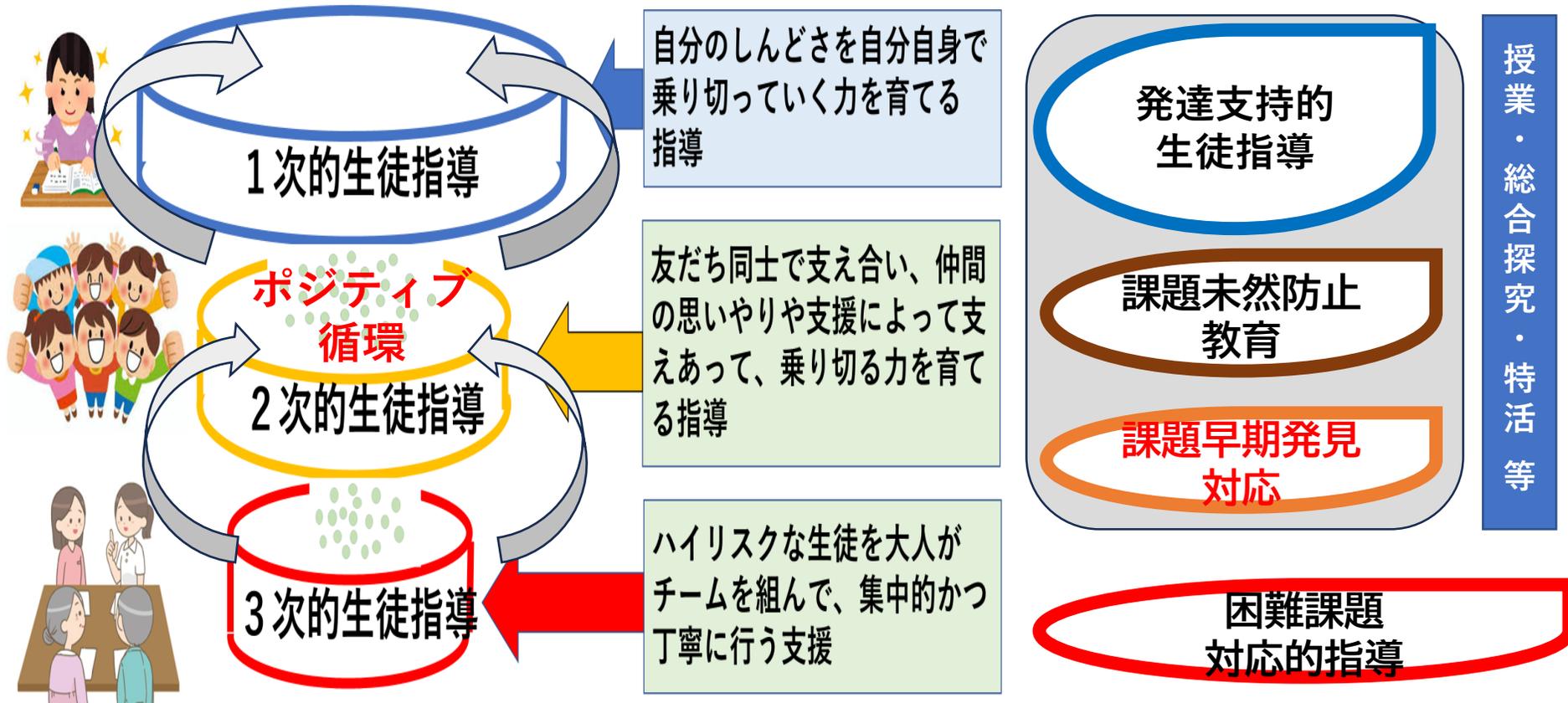


その仲間が、友人の困り感に適切に関わり“課題の深刻化”  
を防ぐように「**友人サポート**」を発揮することが大切

( 2 次的生徒指導 = ピア・サポート )

# 生徒を自立させる教育としての2次的生徒指導

## 1次的・2次的・3次的生徒指導



## 2次的生徒指導を成功させる前提条件

Q. 困り感のある仲間を仲間同士で支え合い、思いやりや支援（サポート）により、その困り感（課題）を乗り越えるには？

A. そのための必要条件があることに留意すべきである。（それは）

仲間をサポートしようとする生徒自身が、“温かな発達支持的生徒指導”を日常的に受けており、仲間をサポートする資質・能力を高めておく必要がある

特に ・温かな教師サポート（教師のサポートをモデリング対象とできる）

・仲間をサポートする理論と技術を習得している（ピア・サポート）

## 2次的生徒指導を成功させる前提条件

(補足説明)

生徒がこの2つの条件（サポート）が満たされていない中で“友だちの困り感”を当事者に代わって解決（レスキュー）しようと動き出すと、失敗する。

それは、当該生徒が“解決に成功する”というポジティブなイメージとスキルを持たず、かつ全体俯瞰もないまま、ネガティブ感情・ネガティブ思考でものごとを捉え、「自分が（悪を懲らしめ）問題を正してやろう」とネガティブ行動に動くことで、ネガティブ循環を更に拡大させてしまうからである。

1. 日本社会のこどもを取り巻く状況
2. 包括的プログラムと生徒指導の重層的支援構造

### 3. スマホの世界と現実の社会

4. 1層目を担う職員への後方支援の充実
5. B-SAFEの活用
  - (1) B-SAFE とは？
  - (2) いじめの実態把握
  - (3) いじめの予防対策 -1- 能力・支援
  - (4) いじめの予防対策 -2- 学級風土
6. 最後に

# 大人は知らないスマホの世界 子どもは知らない現実の社会

教師サポートにある4種類を思う存分活用する

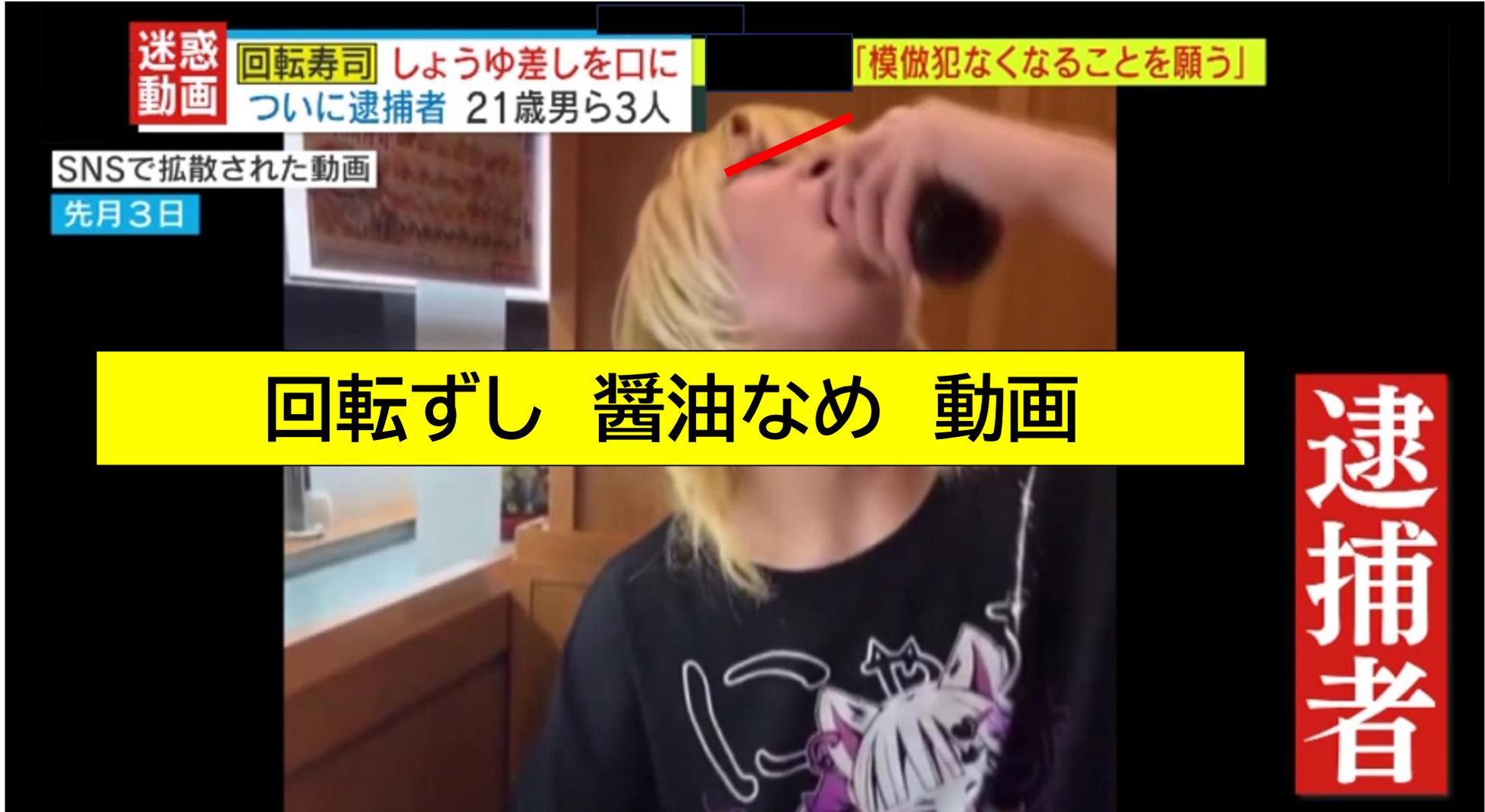
## サポート

- ・情緒的
- ・道具的
- ・情動的
- ・評価的

(House, J.S., 1981)

これを基点として、生徒の学校適応感を高める

# 大人は知らないスマホの世界(1)



**迷惑動画** **回転寿司** しょうゆ差しを口に  
ついに逮捕者 21歳男ら3人

「模倣犯なくなることを願う」

SNSで拡散された動画  
先月3日

回転ずし 醤油なめ 動画

**逮捕者**

# 大人は知らないスマホの世界(2)

██████████ 中学校 男女8組が卒業式で撮った集団キス画像

炎上の元になった中学生集団キス画像がこれだ・・・

【拡散希望】██████████中の生徒が卒業記念に撮ったこの集団キスの画像・・・



# 大人は知らないスマホの世界(3)



アイス用冷蔵庫

# 大人は知らないスマホの世界(4)



病院の患者さんの♡大腸もあるよ♡



# 大人は知らないスマホの世界(5)



フォローする

首吊り士



神奈川県座間市  
9人の切断遺体

首吊りの知識を広めたい 本当につらい方の力になりたい  
お気軽にDMへ連絡ください

29 フォロワー      0 フォロワー



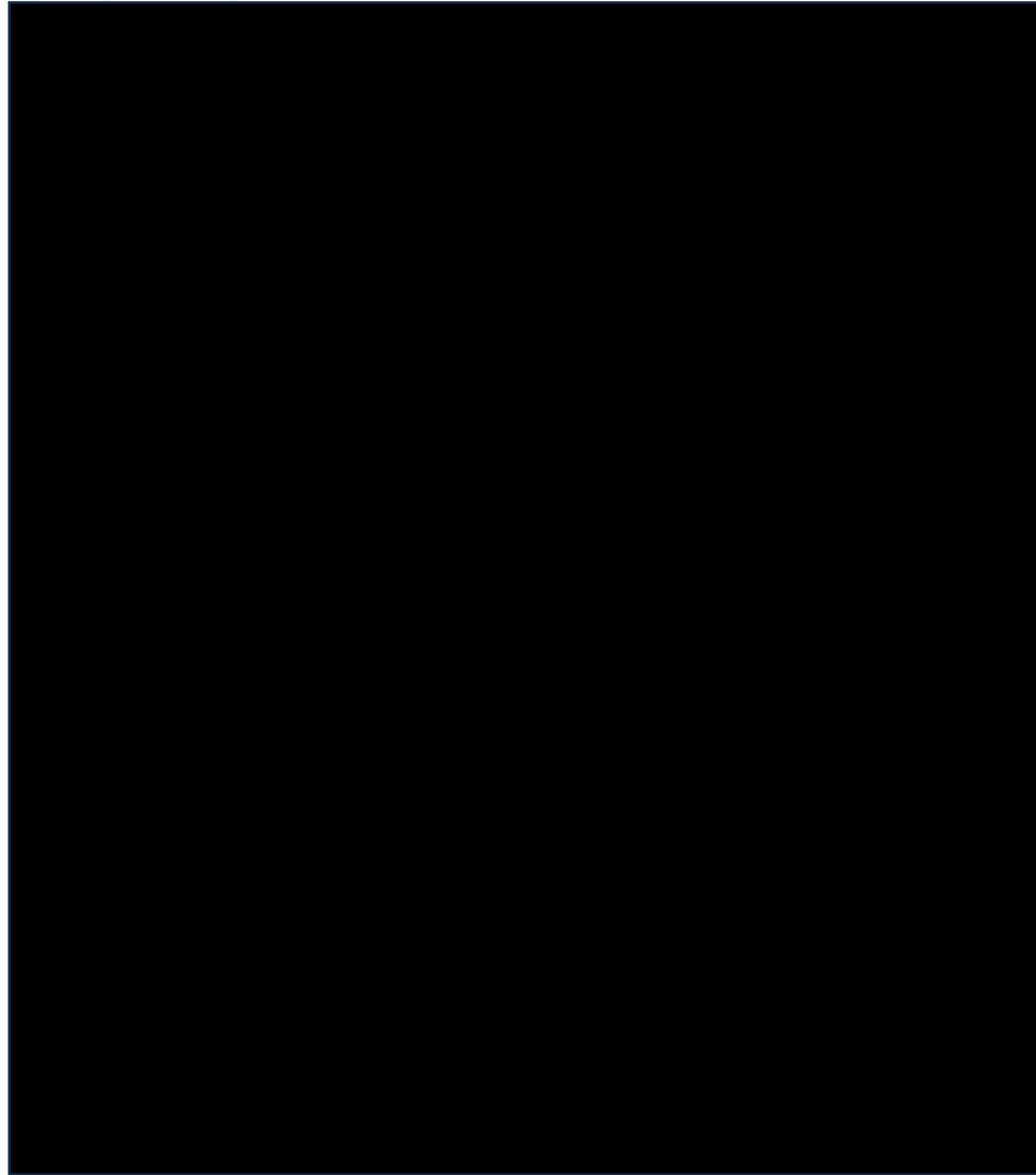
このアカウントのツイートは非公開です。

# 子どもは知らない現実の社会(1)

件数	発生日	被害者	容疑	経緯
1件目	2017年8月23日ごろ	女性A (当時21歳・神奈川県)	強盗 強姦等殺人 死体損壊 死体遺棄罪	性的暴行を加えた上、自宅アパートにて女性をロープを使用して首を絞めて殺害し現金数万円を奪った
2件目	2017年8月28日ごろ	女子高生B 当時15歳・群馬県		自宅アパートにて、性的暴行を加えた上、ロープで首を絞めて殺害し現金数千円を奪った。
3件目	2017年8月30日ごろ	男性C 当時20歳・神奈川県	強盗殺人 死体損壊 死体遺棄罪	自宅アパートにてロープで首を絞めて殺害し、現金数千円を奪った。
4件目	2017年9月16日ごろ	女子大生D 当時19歳	強盗 強姦等殺人 死体損壊 死体遺棄罪	自宅アパートにて、性的暴行を加えた上、ロープで首を絞めて殺害し現金数百円を奪った。
5件目	2017年9月24日ごろ	女性E 当時26歳・埼玉県		自宅アパートにて、性的暴行を加えた上、ロープで首を絞めて殺害し現金数千円を奪った。
6件目	2017年9月28日ごろ	女子高生F 当時17歳		自宅アパートにて、性的暴行を加えた上、ロープで首を絞めて殺害し現金数千円を奪った。
7件目	2017年9月30日ごろ	女子高生G 当時17歳・埼玉県		自宅アパートにて、性的暴行を加えた上、ロープで首を絞めて殺害し現金数千円を奪った。
8件目	2017年10月18日ごろ	女性H 当時25歳・神奈川県		自宅アパートにて、性的暴行を加えた上、ロープで首を絞めて殺害し現金数百円を奪った。
9件目	2017年10月23日ごろ	女性I 当時23歳・東京都	自宅アパートにて、性的暴行を加えた上、ロープで首を絞めて殺害し現金数百円を奪った。	

# 被害者9人全員身元判明

■身元が判明した方々

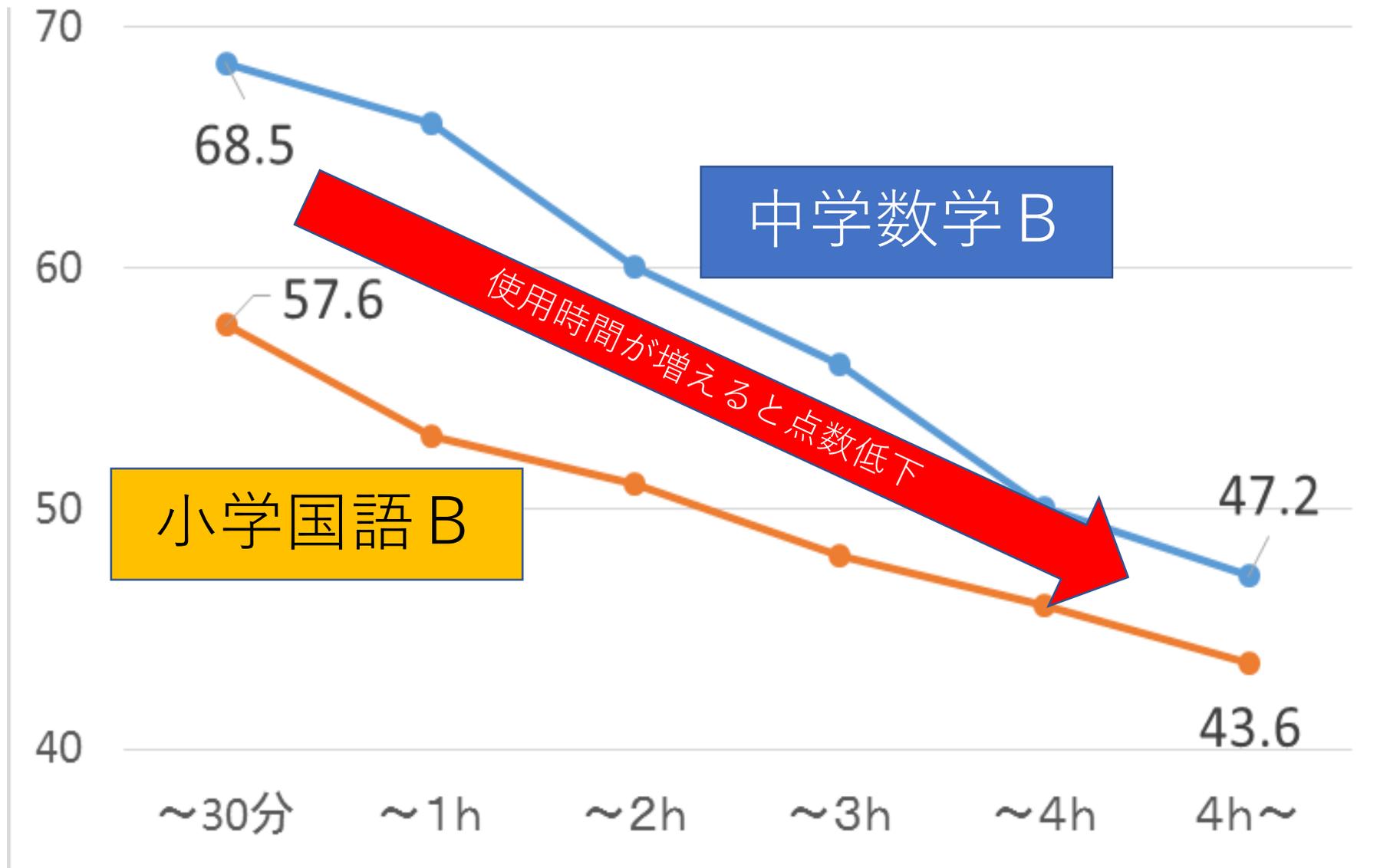


# 死刑判決

- ① ■■■が被害者を誘い出す口実は「一緒に死のう」
- ② 実際に■■■は自殺するつもりはなかった
- ③ 解体に用いた道具はのこぎり
- ④ 遺体をバラバラに解体しクーラーボックスで保存

生徒は、このようなニュースを案外知らないなので、  
気になるニュースを各教科の話題と関連づけて  
取り上げ、授業を「社会に開かれた」ものとし  
生徒の心理的発達、社会的成長を促す

# 子どもは知らない現実の社会(2)



スマホの使用時間と全国学テ(%) 2014年

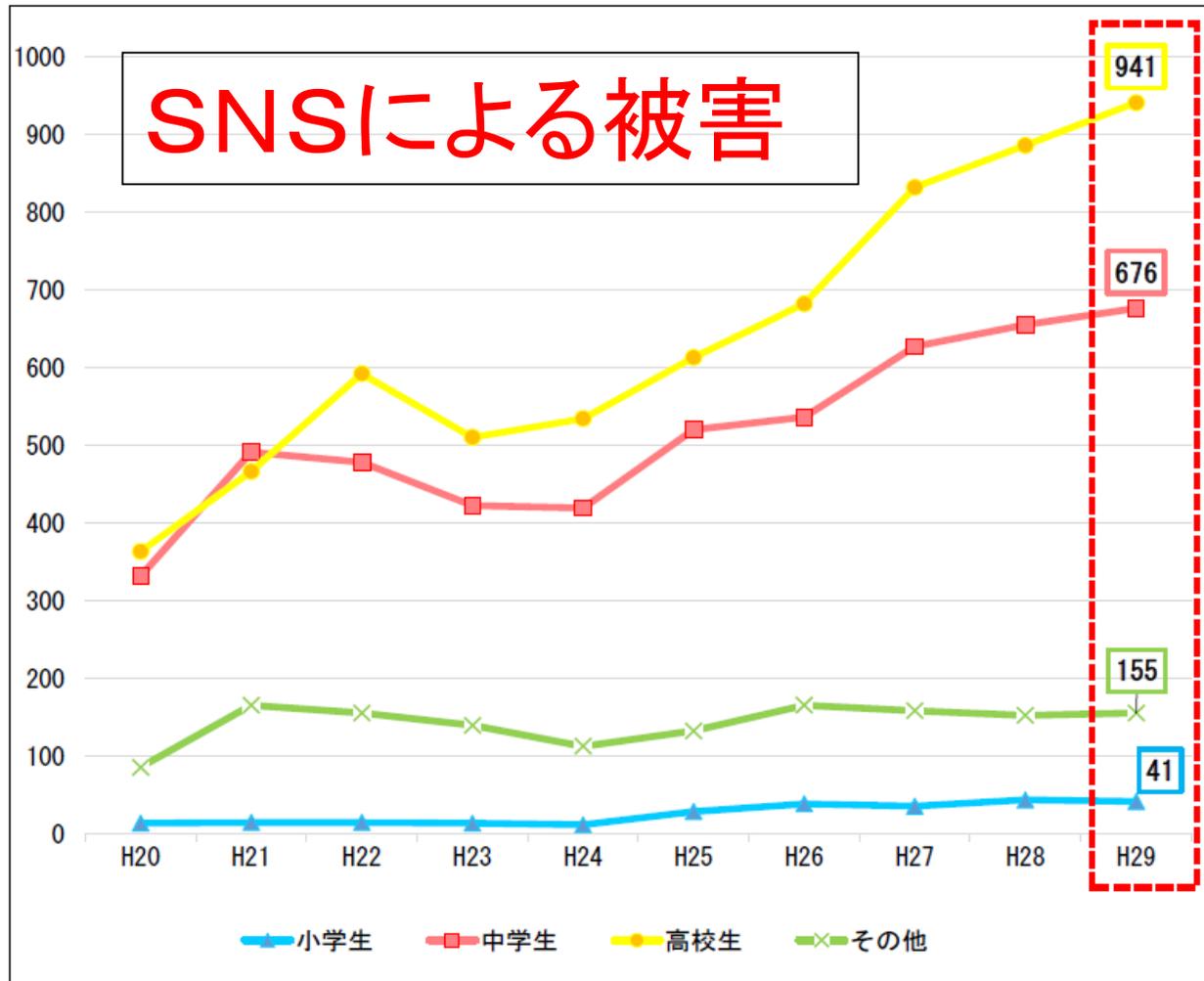
# 子どもは知らない現実の社会(3)

資料4

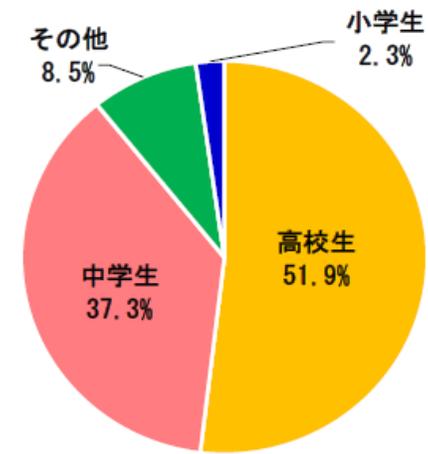
学職別の被害児童数の推移(SNS)

学職別では、高校生及び中学生が9割弱を占める。

2018 警察庁



学職別の被害児童数の割合 (H29)



例) 18歳未満裸体撮影  
→ 児童ポルノ製造(犯罪)

# 犯罪への接近 や いじめ（類似行為 含む）

- ① 違法投稿（著作権法違反、薬物等）
- ② ネット詐欺、ネット上の危険な出会い
- ③ 児童買春・児童ポルノ禁止法違反（自画撮り被害等）
- ④ 誹謗中傷、炎上等悪質な投稿
- ⑤ ネット起因の人間関係のもつれ

この様な「子どもは知らない現実の社会」を教師が  
情動的サポートし、子どもを“現実の社会”に繋ぐ

1. 日本社会のこどもを取り巻く状況
2. 包括的プログラムと生徒指導の重層的支援構造
3. スマホの世界と現実の社会
4. **1層目を担う職員への後方支援の充実**
5. B-SAFEの活用
  - (1) B-SAFE とは？
  - (2) いじめの実態把握
  - (3) いじめの予防対策 -1- 能力・支援
  - (4) いじめの予防対策 -2- 学級風土
6. 最後に

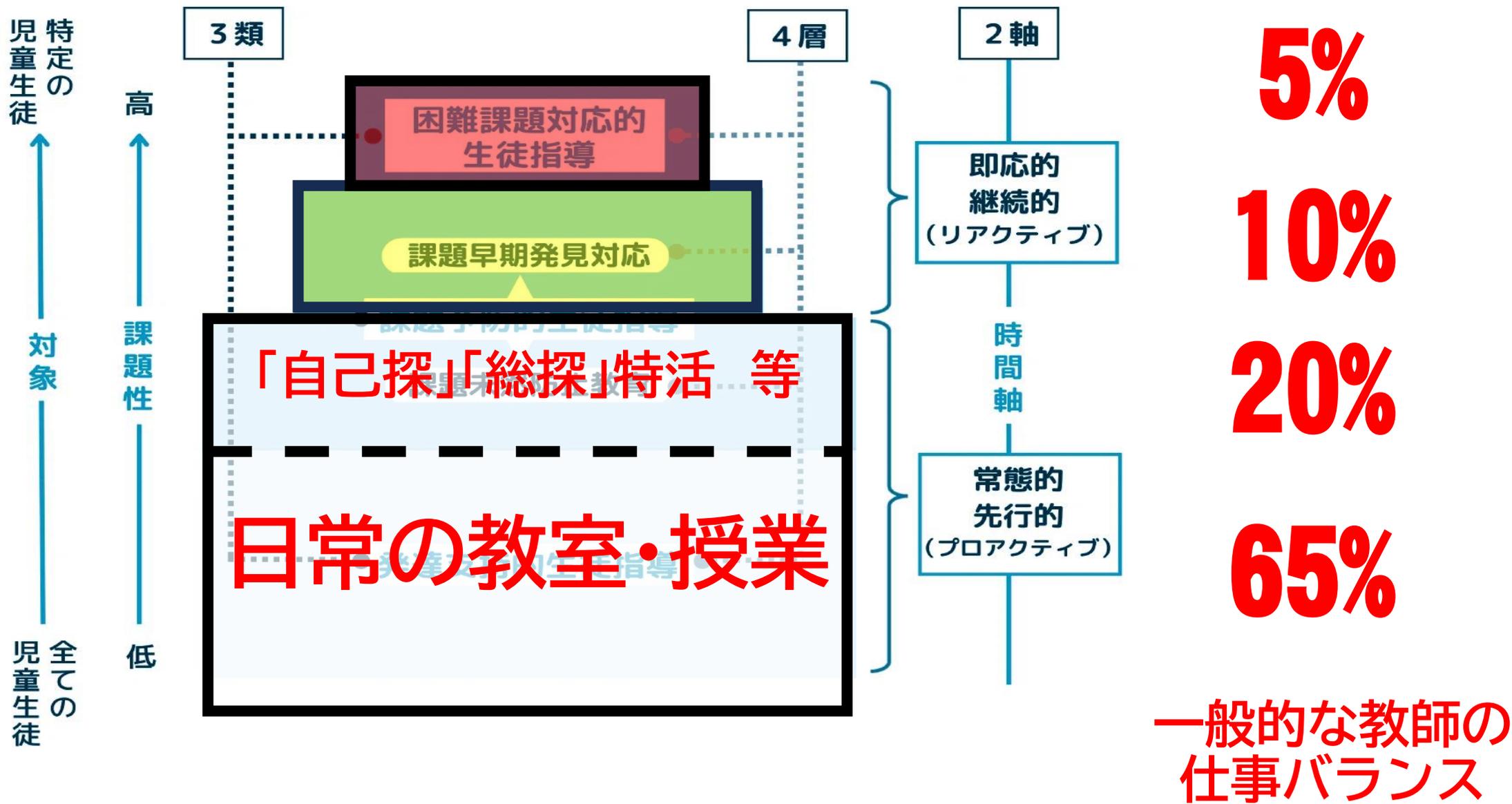
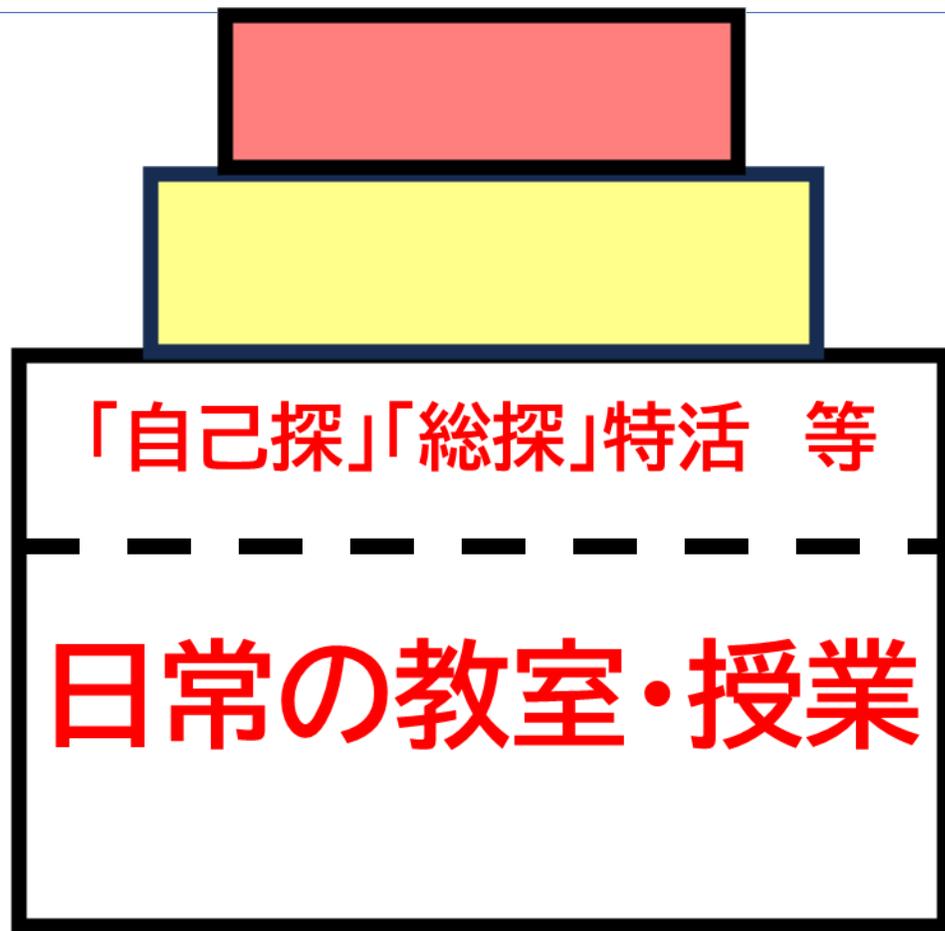
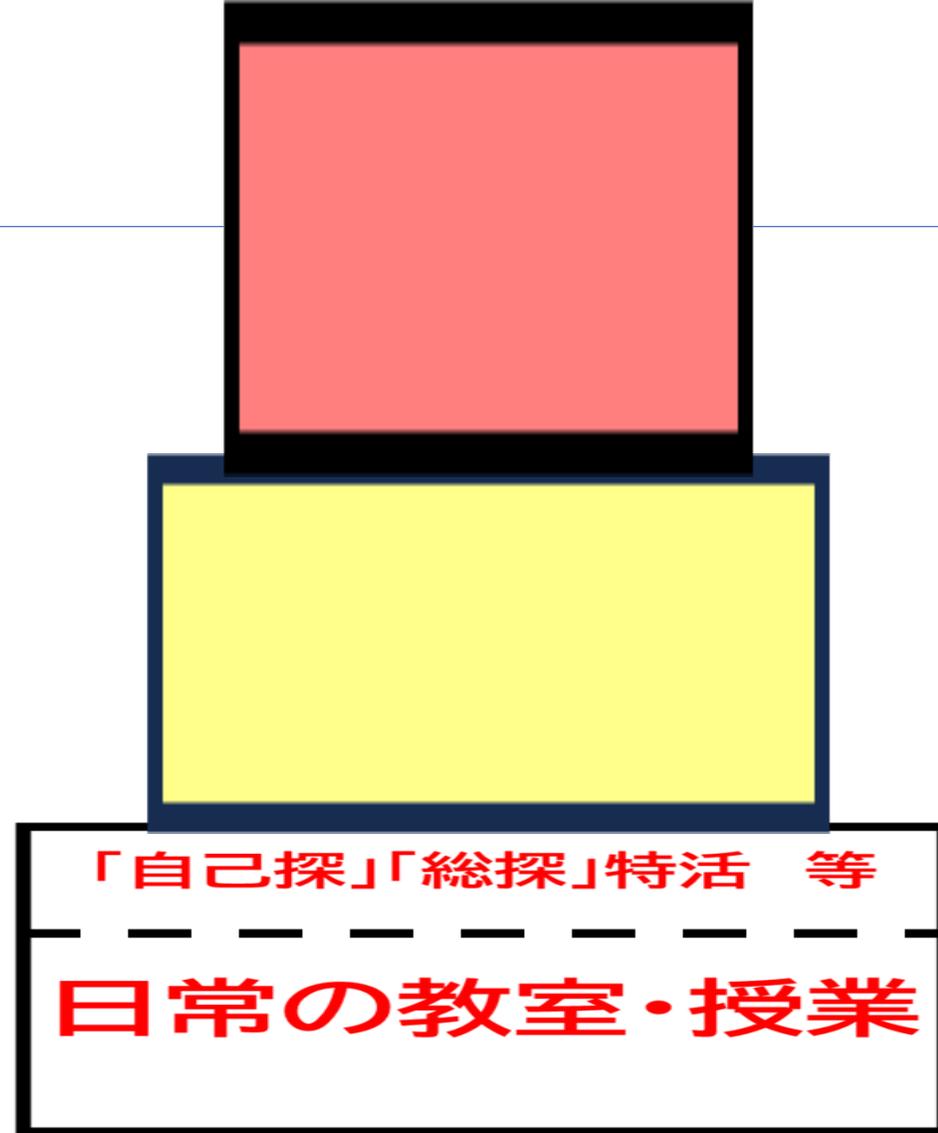


図 生徒指導の重層的支援構造



**バランスの良い学校**  
(正常に機能している学校)



**バランスの悪い学校**  
(ネガティブ循環に陥っている学校)

# 学校教育の本来の姿 = 1層目の充実に力を注ぐ

## そのために 1層目を担う職員への 後方支援体制 を充実させる

・魅力ある学校づくり委員会

・各種職員研修

・教務、進路指導、生徒指導  
生徒会、保健環境

・プロアクティブな委員会  
・リアクティブな委員会

・出雲崎町との包括連携協定  
・その他

授業・HR・部活動等での教師の取組が「生徒指導」の基盤

※R6年度のB-SEFEの結果を踏まえ、課題の2点を強化する

学級満足感の向上

授業・HR等

- ① ルールを明確化し、生徒がそれに価値と意味を見出し、みんなで実行する  
(向社会的スキル)
- ② 仲間でみんなを支え合い、助け合い、支援しあう  
(友人サポート)

ストレス 減

攻撃性 減

いじめ 減

不登校 減

学力3要素 向上

AISES

1. 日本社会のこどもを取り巻く状況
2. 包括的プログラムと生徒指導の重層的支援構造
3. スマホの世界と現実の社会
4. 1層目を担う職員への後方支援の充実
5. B-SAFEの活用
  - (1) B-SAFE とは？
  - (2) いじめの実態把握
  - (3) いじめの予防対策 -1- 能力・支援
  - (4) いじめの予防対策 -2- 学級風土

## 6. 最後に

- ・時代は大きく変化してきています。それを受け、教育も同様に大きな変化の真っ只中です。（入口、中身、出口3点とも）
- ・しかし、その変化に学校が「モグラ叩き」的な対応をしては、経営資源の活用にアンバランスさが出たり、学校教育文化になじみにくい取組を強いたりする可能性もあるのではないのでしょうか。そうなると、自然と教育機能が低下するような気がします。

## 1層目を充実させる

- ・このことが教育を行う際の「基礎・基本」で、本質的に最も大切なことと考えます。
- ・では、多様な生徒一人ひとりを伸ばし輝かせる教育を実現するには、どうしたらよいのでしょうか？ その答えは、今回の研修で示したように、1層目（日常の教室・授業）の充実を図ること、そのための後方支援体制を組織的・計画的に強化し、それをマネジメントすることです。
- ・1層目の充実に向けた後方支援は、各分掌機能、委員会機能を「後方支援」の視点から捉えること、そして、更にその取組の前提として、生徒情報を職員間で共有し、アセスメントをしっかりと行い、それを「教育の土台」に据えることだと考えます。



一人ひとりを伸ばし、

輝かせる教育の実現

現在も脈打つ — 創立の心“心耕” —



◀ 本校は単位制の定時制高校です。

学校見学・説明会は随時受け付けております。  
お気軽にご相談・お問合せください。

一人ひとりを伸ばし、  
輝かせる教育の実現

現在も脈打つ — 創立の心“心耕” —

- ① 「魅力ある学校づくり」
- ② 日常の中に教師サポートを満たす  
→ そこからのドミノ倒しへ
- ③ あらゆる場面で  
※ 授業・HR・部活動・清掃 等々
- ④ 何か感じたら、“チーム学校”  
報連相→アセスメント→支援策→対応

# 参考にしてください

- 「マルチレベルアプローチ だれもが行きたくなる学校づくり  
～ 日本版包括的生徒指導の理論と実践」

栗原慎二 2017 ほんの森出版



- 『ブリーフセラピーを活かした学校カウンセリングの実際』

栗原慎二 2001 ほんの森出版

- 『アセス（学級全体と児童生徒個人のアセスメントソフト）  
の使い方・活かし方』

栗原慎二・井上弥 編著 2010 ほんの森出版